

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公表番号】特表2007-521860(P2007-521860A)

【公表日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2007-030

【出願番号】特願2006-548093(P2006-548093)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/28 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 3

G 0 1 N 24/02 B

A 6 1 K 49/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月14日(2007.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

冷却された溶剤に上記成分あるいは過分極化原子核を溶解しおよび該溶剤の脱気を行う各段階を少なくとも1度繰り返す請求項1～11のいずれか一つに記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

貯蔵器9の内壁は、過分極化原子核の緩和時間を延長するためにPFAまたはモノクロロシランで被覆されている。原則として全てのチャンバー、および装置間の連結導管はこのような形成されていてもよい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0085

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0085】

1・・・過分極化原子核を含有するガス混合物1

2、6・・・溶剤含有チャンバー

5、8・・・脱気用チャンバー

7・・・溶剤冷却装置

9・・・貯蔵器

10・・・圧力平衡容器

11・・・冷却蛇管

13・・・溶剤貯蔵容器

1 4 . . . 廃棄液用容器